

## 地域密着型サービス評価の自己評価票(2F)

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	しゃらく理念を基に、2階では、「気軽に近隣の方に笑顔で挨拶しよう」を掲げている。	毎日の買物、外出の際に道端で会った方には、声を掛け挨拶をしている。最近では、近隣の方から声を掛けて下さり、交流する場が多くなってきている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすい位置に掲示し、また職員クローゼットにも掲示し、常に意識しながらケアを行っている。また、毎日の申し送りにて、具体的に管理者より指導をして頂いている。	左記同様にて、引き続き継続していく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	利用者・家人・職員がいつでも読めるように理念を大きな字でフロアーに掲示している。近隣の行事に参加した際は、家人面会に報告し取り組んでいることを理解して頂いている。	左記同様にて、引き続き継続していく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々、頻繁に活用しているお店の方々には、こちらから積極的に声を掛け、挨拶やお話しをしている。	左記同様にて、引き続き継続していく。犬の散歩に来ている方や、子供達が遊び来ているの見かけた際には、こちらから声を掛け外で一緒に過ごせるように考えている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会や近隣の学校の運動会、町内の公民館の教室見学、選挙などへ参加している。	左記同様にて引き続き継続していく。現在近隣の事業所に、月に2回お習字教室へ行かれている方がいる。こういう機会を増やしていければと考えている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	当事業所では体験入居を実施している。通い慣れている所から、併設されているデイの利用者方が多く活用している。		左記同様にて引き続き継続していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は、評価表に目を通し、全体会議またフロア内でもミーティングを行い改善に向けて努めている。		左記同様にて、引き続き継続していく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者、ケアマネ等が定期的に運営推進会議を行っている。現場職員は、直接会議には関わっていない。		現場職員は、実際関わっていないが職員会議等で報告を受けており、内容は把握出来ている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	同上		同上
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者やケアマネは制度を理解し必要な方に対して相談・支援等を行なっている。受付カウンターには、権利擁護に関するパンフレットを設置しており気軽に情報を得る事ができる。職員に対しては、全体での勉強会を実施している。		当事業所での全体勉強会を行ったが、2階職員不参加だった為学ぶことが出来ていなかった。管理者に事実を伝え、7月9日に2階職員だけの為に勉強会を開催予定。権利擁護に関して学ぶことが出来る。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法については、「高齢者虐待防止の基本」というファイルが作成されており。職員がいつでも読む事が出来る様になっている。		左記同様にて引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、管理者が行っている。家人・利用者の面談の時間に関しては、十分な時間を取り説明等を行っている。入居後も不明な点があれば随時時間をとり、対応している。	左記同様にて引き続き継続していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	水戸市の介護支援相談員の受け入れを行っている。また、相談員のコメントも残している。	先同様にて引き続き継続していく。なかなか職員全でミーティングが難しい事もあるので、何かあった際にはその日の職員の中で話し合い情報を伝えあっている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	体調不良にて受診した際は、出来る限り当日に家族へ電話報告している。定期受診に関しても、毎回報告してほしいと希望されている家族には報告をしている。面会時にも必ず近況報告をしている。	左記同様にて引き続き継続していく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情箱を設置している。以前と同様に面会時には、積極的に家族に声掛けし利用者が何か意見されていなかったか確認をしている。家族・利用者から意見が出た場合には、直ぐに職員に情報収集しそれを基にミーティングを行い、改善に努めている。その後管理者に報告し、随時指導して頂いている。	左記同様にて引き続き継続していく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度職員全体の会議を行う事で意見交換の場を設けている。昨年から親睦会を年2回行うことで、管理者含め他のフロアの職員とも話しやすくなったとの意見もでている。	左記同様にて引き続き継続していく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者が勤務票を作成している。柔軟な対応が出来るように、現場職員から意見を聞き調整を行っている。	左記同様にて引き続き継続していく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動・離職に関しては、最小限に配慮している。離職も回避する様に現場職員の意見を聴き対応している。異動の際も馴染みの関係を作り上げる事を第一とし、職員側は焦らず、相手を混乱させない為にも、徐々に利用者と接していき関係を築き上げている。	左記同様にて引き続き継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の案内が回覧板にて回っている。興味のある研修に関して、自由に参加している。管理者からは、それぞれにあった研修の場を提供した頂いている。	左記同様にて引き続き継続していく。職員会議等で研修が必要だと思われた内容に関しては、直ぐに勉強会の開催を検討し対応している。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、いろいろな研修に積極的に参加され同業者との情報交換を行っている。現場に必要と思われる情報に関しては、職員会議で指導して頂いている。	左記同様にて引き続き継続していく。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に1, 2回程、親睦会を開催。また勤務中は確実な休憩時間の確保は難しいが、ベランダなどに日差しよけのパラソルをたて、一息つくスペースの確保はしている。	左記同様にて引き続き継続していく。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年2回の取り組み表を作成し、個々の取り組み内容を把握している。更に、介護チェックシートのような物を活用し個々の介護力を把握している。	左記同様にて引き続き継続していく。
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日常生活の中でのコミュニケーションの中から、不安や相談を聞き取るように心がけている。状況に応じては、時間を掛け対応している。	左記同様にて引き続き継続していく。内容に応じては、直ぐにミーティングを行い検討している。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者・ケアマネが最初に相談を受け、面談を行い話し合う場を設けている。そこで得た情報に関しては、必ず現場職員に申し送られる。随時管理者に相談しながら、家族・利用者の安定に努めている。面会時、必要に応じて電話連絡をし、最近の生活の様子をお話している。	左記同様にて引き続き継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、相談員が面談を行い、その見極めをしている。その内容は現場職員に細かく申し送られ、情報を共有し対応している。		左記同様にて引き続き継続していく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービスセンターも併設されているので、そこを利用して頂いたり、入所の際も「体験入所」というものがあるので、家人や本人と相談しながら支援している。体験入所を重ね、徐々に馴染める様配慮している。		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人・家族から聞いた話しを基に、どんな事に興味をもつ事ができるか考え、職員が学ぶような環境をつくりお互い支えあいながら生活出来るように支援している。		左記同様にて引き続き継続していく。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時は必ず家族の方に声を掛け、些細な事でもお話しし意見交換を行い信頼関係を築き家族の方と共に本人を支えられるように努めている。		左記同様にて引き続き継続していく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居するには必ず本人と家族の関係がどのような関係だったか情報を得て把握している。その情報を基に本人・家族の状況を見極めながら一緒に過ごす機会を設け、より良い関係が築いていけるように努めている。		左記同様にて引き続き継続していく。本人の状況を見ながら面会を重ねる事により不仲だった家族の方と過ごす時間を持つ事が出来る様になり、日常生活の中の会話にも登場する事が多くなってきた。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人・家族から聞いた話しを基に、どんな事に興味をもつ事ができるか考え、職員が学ぶような環境をつくりお互い支えあいながら生活出来るように支援している。		左記同様にて引き続き継続していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の個性、特に相性は理解している。自分の気持ちを伝える事が出来る方多いので、職員は常に利用者同士が関わりやすいように声掛けに配慮している。		左記同様にて引き続き継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入居するには必ず本人と家族の関係がどのような関係だったか情報を得て把握している。その情報を基に本人・家族の状況を見極めながら一緒に過ごす機会をも設け、より良い関係が築いていけるように努めている。		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の関わりを通して見えた事や感じ得た情報は、必ず職員同士で共有し、内容によってはミーティングを行い対応している。困難な場合は、管理者を含め家族・職員で話し合う場を設けている。		自分の思いを伝える事が出来る利用者の方とは、個別に時間をとり1日の計画と一緒に立てている。外出などが多い場合は、金銭のこともあるので家族交えて話し合いをしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居するには必ず、本人や家族から今までの生い立ちや生活環境を聞き、職員同士で情報を共有する。得た情報は、個人カルテに保管しいつでも職員が閲覧できるようにしている。毎日の生活の中で足りない情報があつた際には、随時家族に情報の協力を求めている。		左記同様にて引き続き継続していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の起床する時間や就寝する時間、それぞれの時間を把握し本人の状態や状況の合わせ負担のならないように支えている。		左記同様にて引き続き継続していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族から聞いた話を基に、希望した外出や馴染みの方との関係の継続できるように、職員または本人を交えて話し合いをし介護計画を作成している。		左記同様にて引き続き継続していく。誰もがケアプランに活かすことが出来る様に申し送りノートを活用し情報を共有出来る様取り組んでいる。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月での見直しを基本に行っている。各自担当者に任せている点やケアプランの進め方が分からない職員もいる為、なかなか期間内に見直しが出来ていないケースが多い。		各自自分の担当者のケースしか把握できていなく、各自に任せている為、見直しが遅れている。今後は、フロアミーティングの際に各自担当が進行状況を報告し、送れているケースや見直ししなければならないケースに関して話し合いをしていき取り組んでいく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人と関わって何か気づいた事が会った際には、必ず記録に記載している。毎日の申し送りにて職員間で情報を共有し、内容によってはミーティングで話し合うばを設け見直しをしている。		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	体験入居と言ったサービスがある。主に、併設されているデイの利用者が活用している。在宅の生活で困っている方々にいつでも利用できるようになってる。また遠方から面会に来られた家族の方に宿泊出来るようになっている。		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人・家族の希望を聞き、近隣の公民館や施設などに問い合わせをし情報収集している。今現在、近隣の施設へ「書道教室」通っている方がいる。		左記同様にて引き続き継続していく。今後は、外出がてら近隣の公民館など立ち寄り、公民館で行っている行事の情報を得て利用者の方がに促し、交流の機会を増やす事が出来るように取り組んでいく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	管理者・相談員が主となり行っている。他施設への移設や入院時の際には、退所時サマリーを作成し、情報提供や事前の申し送りなどで連携を図っている。		左記同様にて引き続き継続していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	主に管理者及び相談員が行う事が多い。		左記同様にて引き続き継続していく。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居する際に、家族・本人にかかりつけ医の相談は行っている。かかりつけ医が異なっているが、家族に相談し、夜間緊急の際には協力病院となっている。定期的に受診は行い、その都度現場にて疑問に思った事は相談できる関係を作っている。夜間も同様である。週に1回訪問看護来てもらい、相談報告を行い健康チェックを行っている。		左記同様にて引き続き継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門の病院に定期的に銃人、その都度どんな事でも相談・報告し関係作りを行っている。		左記同様にて引き続き継続していく。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週に一度訪問看護は来てくださり、利用者の健康状態を把握している。その都度訪問看護ノートに記載している。状況に応じては、協力病院の医師・看護師に相談し指示を頂いている。		左記同様にて引き続き継続していく。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院する際には、病院専用のサマリーを作成し情報を提供している。出来るだけ本人が不安にならずに治療が出来るように、1日又は2日おきに面会に行っている。管理者も毎日面会に行き、病院と事業所の連携を図っている。		左記同様にて引き続き継続していく。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人の気持ちを聞くことは出来ていたが、家族の考え方はなかなか聞けずターミナルの状況に近づいた際にしか話す事ができていなかった。今回からは、「意思確認書」を作成し今の段階での家族・本人の意向を明確にすることが出来た。それを基に医師・看護師・管理者・家族を含めて状態応じて検討している。職員は全員把握し共有している。		左記同様にて引き続き継続していくが、「意思確認書」は、家族から意見があった際、終末期に取り組んだ際に上がった改善策を基に内容を変更していく考えている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族・管理者・現場職員で話し合い当事業所としての意見をまとめから管理者が、医療関係の方々にも相談し連携を図っている。随時話し合いを重ね検討している。なかなか連携が図れない時もある。		左記同様にて引き続き継続していく。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新しい環境の中で、少しでも不安のない生活が送れるように退所時には、ケアサマリーを作成し情報交換をおこなっている。		左記同様にて引き続き継続していく。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	年上の方を敬う気持ちを忘れずに、言葉掛け等に配慮している。個人情報に関しては、記録に記載する際は名前ではなくイニシャルで記入している。又保管場所を決めている。	左記同様にて引き続き継続していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自分の気持ちが表現しやすいように、声をかけるタイミングや声の大きさ言葉遣い、話すテンポに気配りし利用者が自分で決定出来る様に、場面作りをしている。	左記同様にて引き続き継続していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	年上の方を敬う気持ちを忘れずに、言葉掛け等に配慮している。個人情報に関しては、記録に記載する際は名前ではなくイニシャルで記入している。又保管場所を決めている。	左記同様にて引き続き継続していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	それぞれの行き着けの美容室・理容室へ出掛けいる。また本人が望んでいる髪型や髪の色など職員で出来る限りのことは、行っている。	左記同様にて引き続き継続していく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや配膳の準備はそれぞれ役割決まっており、職員が声掛けしなくても行っている。広告や買物の際に見つけて「食べたい」と希望があった旬の食材は、その場で購入し調理法を教えてもらいながら一緒に調理している。外食の希望があれば、出来る限り出かけ。外での食事を楽しんでいる。	左記同様にて引き続き継続していく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物や外出先で本人に合わせて好きな物や必要な物を購入するのを支援している。	左記同様にて、引き続き継続していく。犬の散歩に来ている方や、子供達が遊び来ているの見かけた際には、こちらから声を掛け外で一緒に過ごせるように考えている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を活用し、時間や習慣を把握したうえで排泄介助、声掛けを行っている。出来る限りトイレでの排泄を心掛けており、使用するパットやパンツなどそれぞれにあった物が本人が希望している事なのか検討している。		左記同様にて引き続き継続していく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	自由に買物し、食べたい時に食べてもらえるように特に決まりはない。ただし飲酒する方は、職員で把握している。		左記同様にて引き続き継続していく。季節的な物を取り入れて癒されるよう心がけている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日頃の日課などを聞いた事を基に、その方らしい生活が継続出来る様支援している。昼夜逆転や不眠にならない様、日中に適度な運動をして心地よい疲れになる様に支援している。		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人や家族より情報収集した生活歴を基に、役割や興味をもてる事を見つけ、その人の出来る事を継続していけるように支援していく。		左記同様にて引き続き継続していく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理に関しては、自己管理している方・買い物の支払いが出来る方にはその場でお財布を渡して支払う方・スタッフが管理している方がいる。		左記同様にて引き続き継続していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自分の物は自分で買いに行く働きかけや、毎日の関わりの中で利用者個々が目的を持って外出出来るよう支援している。		左記同様にて引き続き継続していく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人や家族より情報収集した生活歴を基に、役割や興味をもてる事を見つけ、その人の出来る事を継続していけるように支援していく。		左記同様にて引き続き継続していくと共に、家族との外出は少なからず行っているが、利用者の方々の意見もありなかなか実現できていない。その分面会時に家族の方と外出されている利用者が多い。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に電話したいときかけ、お話しされている。こちらに来て頂いても構わない事を本人に伝え面会等の促しをしている。本人より希望があった際は、友人や知人または親戚の方のお宅へ出かけることもある。		左記同様にて引き続き継続していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に来て下さった際には、お茶を出したり日常生活の中で撮影した写真などを出したり、楽しいひと時を過ごして頂けるように配慮している。人数によっては、デイルームや相談室を使用し場所の提供をしている。		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしてはいけない事として、職員全員理解している。当事業所は、「身体拘束をしないケア」に取り組んでいる。		生命の危機に関してどうしても行わなければならない拘束に関しては、家族に説明をし承諾書を書いて頂いている。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は、本人希望時施錠している。また個人で鍵を作成し自ら施錠している利用者もいる。鍵をかけ閉鎖的な中で生活したらどのような気落ちで生活するのかを職員は理解している。玄関は常に開放されており、自由に入出入り可能になっている。		左記同様にて引き続き継続していく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は職員同士声を掛け合い、所在の確認を行っている。夜間に関しては、時間ごとの巡視の他に状態応じて安全の確認を行っている。		左記同様にて引き続き継続していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	消毒薬に関しては、手の届かない場所に保管し、毎日消毒管理表にチェックし管理している。その他の物に関しては、利用者の状態に合わせて管理している。		左記同様にて引き続き継続していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒・事故発生・離設時のマニュアルが作成されている。窒息に対しては、救急救命の講習を1年に一回受けている。誤薬に関しては、管理者へ報告または直ぐにかかりつけ医院連絡をし指示を仰ぎ対応している。		左記同様にて引き続き継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に1回～2回程、全員参加で専門知識をもった方を講習に招き実施している。また、不参加の職員にも伝えられる様にビデオに録画し見返りが出来る様に対応している。又緊急時のマニュアルが作成してあり、すぐに対応できるようになっている。		左記同様にて引き続き継続していく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回程、総合訓練を行っている。また、夜間を想定した訓練も行い対応している。近所の居酒屋からは、何かあった時には店を避難場所として利用して良いと協力を得られている。		左記同様にて引き続き継続していく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日常生活の中で見えてきたリスクに関しては、職員間で情報を共有すると共に管理者へ報告・相談し今後の対応策を検討していく。随時家族に報告し理解を得ている。詳細は記録に残してその後も引き続き経過観察を行う。		左記同様にて引き続き継続していく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	基本的には、週1度のバイタルサインチェックを行い状態を観察している。医師の指示によっては毎日測定し観察している方もいる。日々の体調の変化には注意し、管理者に相談したり、必要に応じて病院受診を行い対応している。		左記同様にて引き続き継続していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋の管理に関しては、受診時にもらったら処方箋はコピーをし、事務所に保管、管理者がすぐに目を通すことが出来る様にファイリングしている。現場では、必ず個人カルテに保管し職員がいつでも見返すことが出来る様に保管している。内服に関して変更があった際は毎日の申し送りの中で重要な事項として申し送られている。		左記同様にて引き続き継続していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因の把握し、個々の利用者びあった対処方法を見つけて対応している。薬には頼らず、腹部マッサージやホットパック・乳製品を飲用して頂き対応している。		左記同様にて引き続き継続していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	それぞれの口腔内の状況に応じて、毎食ご歯磨きやうがいを行っている。		左記同様にて引き続き継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に関しては、毎食協力施設から配食され、栄養のバランスは、メニュー表に記載されており確認できる状態になっている。配食される以外にその時旬の物や利用者が希望した料理をだし食べている。水分量は、1日平均1000ccが摂取目安となっており、その人にわせて水分量は調節している。食事量・水分量は記録している。		左記同様にて引き続き継続していく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルが作成しており、すぐ手の届く所に保管してある。感染症の起きやすい時期には、消毒薬を使用し毎日掃除を行い予防に努めている。感染症が発症した際には、病院と連携をとり対応している。		左記同様にて引き続き継続していく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1か月2回食器消毒を行い、台ふきん、まな板の消毒は毎日行っている。感染症が発生しやすい時期は、食器消毒を毎週に変更している。冷蔵庫内の食材チェックも毎日行い衛生面に気をつけている。		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入口周辺の花壇には、一年通して楽しめるように植木や花が植えられており、玄関にも季節折々の花が常に置かれている。入口は開放されており、自由に出入りが出来るようになっている。		左記同様にて引き続き継続していく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースが南向きに面しており、常に自然の光が射し明るい環境である。季節の花を飾り暖かい雰囲気作りを心がけている。		左記同様にて引き続き継続していく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入所者の状況に応じて、イスやテーブルの配置をし、過ごしやすい様に工夫している。特に食堂は、利用者の方々の相性を考慮し机の配置を行っている。リビング内でお気に入りの場所があり定着している。		左記同様にて引き続き継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居する際に必ず家族の方に、すこしでも馴染の物があれば持ってきて頂ける様にお話している。本人と話し合いながら家具の配置など考え、住みやすい居住空間づくりをしている。		左記同様にて引き続き継続していく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日2回は、空気に入れ替えを行っている。温度調節に関しては、エアコンのコントロール機ところに、夏の温度、冬の温度設定数値を掲示し、誰もがわかるようになっている。目に見えるところに、温度計と湿度計を課々下		左記同様にて引き続き継続していく。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアの廊下には、全て手すりが完備されている。居室内のトイレにも手すりはついており、それ以外に手すりなどが必要と思われる場合は、家族と相談し環境整備を行っている。転倒が多い利用者の場合は、直ぐに話し合い混乱の内容に工夫しながら、転倒防止に繋げていく。		左記同様にて引き続き継続していく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人が毎日続けられよう本人と話し合い、環境を整えている。本人が混乱しないように、小さな変化があればその都度職員と話し合い検討している。		左記同様にて引き続き継続していく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	入居者の状況に応じて、イスやテーブルの配置をし。過ごしやすい様に工夫している。特に食堂は、利用者の方々の相性を考慮し機の配置を行っている。リビング内でお気に入りの場所があい定着している。		左記同様にて引き続き継続していく。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当たり前のことではあるが、理念にもあげられている「その方らしい」というのを大切にしている。職員は常にご利用者の気持ちや性格を意識し、最後までご利用者に付き合い気持ちを聞いている。